



市長からの手紙

②6 景気対策

昨年の総選挙の結果誕生した第2次安倍内閣では、安倍首相のリーダーシップの下、「アベノミクス」と呼ばれる経済政策を推し進めています。政府の政策は、地方自治体にも即座に影響を及ぼすので、首長としては目が離せません。

私は経済や金融の専門家ではないので、多くの方の意見やマスコミなどが伝える内容を参考に判断するしかありません。アベノミクスが、本来の目的通りの効果を生むか、またどのような結果をもたらすかについては、学者も実務家も意見が分かれています。経済は、人間の思惑や気分、感情によって左右される部分があるため、何十年も研究を続けている人でも、また、長年経済界において経験を積み重ねた人でも、予測は極めて難しいものようです。

景気を良くするためのオーソドックスな手法に、公共事業で需要を喚起するという方法があります。安倍政権は、国の平成24年度補正予算(第1号)で、需要喚起のための補助制度を創設しました。しかし、申請期間が極めて短期間に限られ、しかも具体的な計画ができていない事業についてのみ申請できる補助金が多かったため、自治体としては、見送らざるを得ない部分が多かったようです。

そこで、自治体の首長として次のようなことを考えてみました。国が自治体に住民一人当たり1万円の割合で交付金を出すとして、これは、川越市民約35万人として計算すると、総額は約35億円になります。これを用途に縛りをかけない交付金として、臨時的に自治体に配れば、その景気浮揚効果は大きいと思われます。

各自治体の事情に応じて、喫緊の課題となっている公共事業や市民サービスの委託業務などに使ってもよいということであれば、自治体は必ず使います。その結果、全国では1兆2,000億円以上の臨時のお金が中小事業者や国民に出回ることになり、早期に経済効果が出るのが期待できると思われます。

川越市長 川合善明

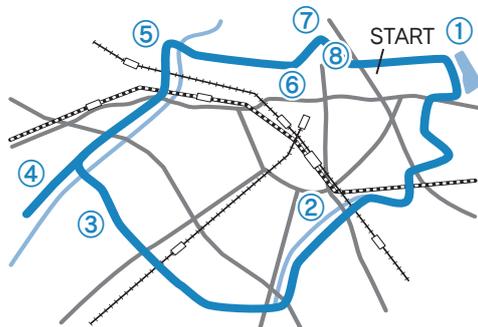
小江戸川越みどころ90観光コース 1

観光課 224・5940

江戸の情緒あふれる町並みが、多くの人を惹きつけている川越。新たな魅力を発見するための観光コースとして、「小江戸川越みどころ90観光コース」を作成しました。このコラムでは、そのうちの一部を紹介していきます。

第1弾は「田園と川の自然満喫ルート」。川越の自然や歴史的観光スポットをめぐるサイクリングコースです。移動距離は約32km、所要時間約2時間40分のコースとなっており、8個所のポイントを巡ります。あぐれっしゅ川越をスタート地点として、伊佐沼から不老川を經由、埼玉川越総合地方卸売市場を目指します。活気のある同市場では、買物も楽しみのひとつです。また、ポイントのひとつである河越館跡史跡公園は、平安時代末から南北朝時代にかけて権勢を築き「川越」の地名に深く関わる、河越氏の館跡で国指定史跡として登録されています。他にも蔵造りの町並みの模型が展示されている市立博物館など見どころが満載です。自転車で風を感じ、川越の自然を満喫してはいかがでしょうか。

田園と川の自然満喫ルート



- ①伊佐沼
- ②不老川
- ③埼玉川越総合地方卸売市場
- ④安比奈親水公園
- ⑤河越館跡史跡公園
- ⑥新河岸川
- ⑦田谷堰
- ⑧川越市立博物館・美術館

90コースは、市ホームページで見ることができます。ご利用ください。

90コースは、市ホームページで見ることができます。ご利用ください。

みんなで支えよう 大切な人

高齢者いきがい課 ☎224-5809

下は見られない。
こうした症状で思い当たることがあり
ましたら同センターにご相談ください。
詳しくは、同課にお尋ねください。



パンフレットは高齢者いきがい課、地域包括支援センター、出張所・連絡所で配布しています。

トキノ家の認知症介護奮闘記その2
前は、トキノ家の妻ヤスヨさんの様子について地域包括支援センターに相談しました。翌日職員が来て：
職員「地域包括支援センターのスズキです。市の委託機関の職員として、地域の高齢者の困りごとの相談に応じています。電話では最近ヤスヨさんがガスの火を付けっ放しにするなど、様子が心配と伺いましたが…」と話しながら、夫のヒロシさんにパン

フレットを渡しました。そこには、『認知症』と『老化による物忘れ』の違いが書かれていました。
認知症…もの忘れの自覚がなく、ご飯を食べたなど体験したこと自体を忘れる。時間や場所、人との関係も分からなくなり、判断力も低下する。
老化によるもの忘れ…もの忘れの自覚があり、ご飯のメニューなど体験の一部を忘れる。時間や場所、人との関係などは分かり、判断力の低

家庭教育のスズメ

いきいき子育て親育ち ②

地域教育支援課

☎224-6086

休日の過ごし方

休日はどのように過ごしていますか。家族がそろって休日は、家族との触れ合いを通じて心も体もリラックスできます。子どもと一緒に行動し、親子の感動体験をつくりましょう。

自然と共に、感動体験を！

近年、自然体験の少ない子どもが増えています。新しい発見は、感動を生み、好奇心や探求心などを育てていきます。休日のゆとりある時間を利用して、身の回りの自然体験を増やしてみましょう。

例えば…

●ペランダや近くの高台などから

朝日や夕日を見たり、星空観察をしたりする。

●公園などで植物の観察を行う。

●家族でキャンプやハイキングなどに出かける。

●机の上ではできない学びを！

休日は、学校で学ぶ以外のことを学習できる日です。

例えば…

●図書館や博物館、美術館などを利用して物知りになる。

●親子で縄跳びなどをして、健康な体づくりをする。

●子どもと食事のメニューを考え、一緒に料理を作る。

●子育てを楽しむ休日を通して、親子の絆を深めよう。

かわごえし子ども情報誌「小江戸探検隊」

子どもたちの休日における体験活動を支援する情報誌です。市ホームページに掲載されています。



資源循環推進課からのお知らせ

資源循環推進課 ☎239-6267

5月26日(日)はごみゼロ運動

ごみゼロ運動は、道路や公園などの公共の場に散乱しているごみや空き缶などを拾い、清潔な環境を保ち、美しいまちづくりをするための運動です。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。なお、ごみゼロ運動の日は、家庭のごみや粗大ごみを回収する日ではありません。

●環境美化活動への支援

ごみゼロ運動の日以外に地域の清掃活動を行う団体に対し、ごみ袋の支給やごみ挟み・啓発用ベスト・リヤカーの貸

し出しを行っています。また、川越県土整備事務所では、道路の清掃活動を支援する「彩の国ロードサポート」、河川の清掃活動を支援する「川の国応援団美化活動団体支援制度」があり、ごみ袋の支給などの支援を行っています。詳しくは、同事務所 ☎243-2020にお尋ねください。

布ぞうり作り

日時…6月9日(日)、午後1時～4時30分 会場…つばさ館
対象…市内在住 定員…20人(抽選) 経費…300円 持ち物…幅5～6cm×長さ100cmの古布100本 申し込み…ハガキに催し名・住所・氏名・ふりがな・電話番号を明記し、5月25日(土)(必着)までに〒350-0815 鯨井782-3 つばさ館